

食事部会研究発表

発表者 中山 泉





テーマ
『食事をより美味しく食べていただく為の
口腔ケア』



具体的な取り組み

- ・口腔清拭⇒1日3回毎食後に実施する。

☆チェック項目

- ・舌の状態（舌苔の有無・乾燥の有無）
- ・歯肉状態（炎症の有無・出血の有無）
- ・口臭の有無（有・少し・無）等

1週間毎に口腔内の状態を経過観察し評価する。



歯ブラシ

歯間ブラシ



舌ブラシ

ガーゼ



歯磨き粉

イソジンガーグル
(うがい薬)



歯磨きティッシュ



活動の成果

- 事例1 A様
『ケア前』

- * ご本人の残歯が多く、義歯は使用していない

- * 不安や恐怖心から、食いしぼる事がある

- * 口臭や強い歯肉の炎症あり、ブラシが触れるだけで出血する状態
『ケア内容』

柔らかい歯ブラシを使用

『成果』

- * 次第に出血が減少している

- * 歯肉の血色も良く、引き締まっている

- * 2ヶ月経過後、口臭が弱くなってきた

- * むせ込みが減り、食事量が増えている



活動の成果

・ 事例2 B様

『ケア前』

- * 上のみ義歯使用 下には残歯あり
- * 口臭は気にならないが、舌苔が多く舌全体が白い
- * 義歯を外し、付着している残渣物を舐める事がある。
- * 7月中旬より気分が乗らずケア中止が続き、食事量が減り、舌苔が増えてくる。

『ケア内容』

- * 残歯はご自分で磨かれる
- * 義歯は職員が磨く
- * 無理強いせず、うがいや歯磨きティッシュ使用

『成果』

- * 舌苔が減ってきた
- * 義歯を舐めることが減ってきた
- * 口腔ケアが習慣づいてきた



ブラッシング？



活動の成果

• 事例3 C様

『ケア前』

- *ご本人の残歯は少しあり、義歯も使用
- *舌苔が多く、口臭も少しある
- *口を大きく開ける事に、苦痛表情や拒否が多くある

『ケア内容』

- *舌専用のブラシを使用し、無理のない開口でのケア

『成果』

- *舌苔が減ってきた
- *口臭が軽減された
- *咀嚼がスムーズになり、飲み込みが良くなった



ブラッシング前



歯ブラシにガーゼを巻いたもの



左半分のみブラッシング



考察

- 介助当初は、抵抗があったが、習慣付いてくると、本人も口腔内がすっきりした様子で抵抗も少なくなった。
- 歯肉の出血が減少し、歯肉も引き締まり、血色も改善された。
- 口臭も、歯感の残渣を取り除く事により口臭予防に繋がっている。
- 拒否のある方に、歯磨きティッシュを使用した事により、すっきりした様子が伺えた。



- コットンシートに緑茶エキス等の潤湿剤を配合
- ミントの香り
- 寝たきりの方やブラッシングに拒否があり、素早くケアを行いたい時に使用



課題

- 残歯のある方は、歯間に残渣物が溜まりやすく歯を食いしばる事があり、丁寧なケアが出来ない時がある。
- 時間をおいても、タイミングが合わない。
- 舌苔を除去する際も、綺麗に取り除けない為、口臭の繋がる。



最後に

- 個々に合わせた口腔ケアを検討し、継続的なケアを行う事で、口腔機能の維持・向上に繋げていく。
- 少しでも多くの方が美味しい食事と感じ、食生活を楽しんで頂ける様に援助する。
- 心と身体の健康を維持する為にも、口腔ケアを習慣化していく予定。



ご清聴ありがとうございました



